



市議会だより

OTA City council

No.80

主な掲載記事

- P.2～P.6 ……一般質問の要旨
- P.7～P.8 ……常任委員会
- P.8 ……12月定例会の議案審議結果など

発行:太田市議会【太田市浜町2番35号 TEL.0276-47-1806 FAX.0276-47-1860】



「道の駅おおた」では、太田市産のさつまいもを使用した”つぼ焼きいも”を販売しています。
寒い季節にぴったりの新名物を、多くの方が楽しんでいました。

エフエム太郎
76.7MHz

「太田市議会総括質疑」

を放送します

定例会総括質疑の様態をエフエム太郎で放送(録音)します。3月定例会分の放送は3月15日(月)の午後2時から予定しています。詳しい放送日程は太田市議会ホームページでお知らせします。

また、エフエム太郎はJCBAインターネットサイマルラジオを通じてインターネットでも放送を聴くことができます。ぜひお聴きください。



3月定例会の日程

- 2月15日(月) 本会議
令和3年度予算案上程(施政並びに財政方針および款別説明)
 - 2月16日(火) 本会議
市長提出議案(当初予算以外)の説明
 - 2月19日(金) 本会議
議案(当初予算以外)質疑、委員会付託など
 - 2月24日(水)～26日(金) 本会議
施政並びに財政方針および予算に対する総括質疑
 - 3月 2日(火) 総務企画委員会 市民文教委員会
 - 3月 3日(水) 健康福祉委員会 都市産業委員会
 - 3月 8日(月)～10日(水) 予算特別委員会
 - 3月16日(火) 本会議 委員長報告など
- ※午前9時30分開会。日程・時間は変更の場合あり。

⚠ 新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、傍聴の自粛をお願いする可能性があります。
詳しくは太田市議会ホームページをご覧ください。お電話等でお問い合わせください。

太田市議会事務局
☎0276-47-1806 FAX0276-47-1860
E-mail:otagikai@mx.city.ota.gunma.jp

12月定例会 一般質問要旨



市政に対する市民満足度の現状及び課題並びに今後の展開について



創政クラブ 長 ただすけ

議員 市民満足度アンケートの全24項目のうち「道路網の整備」は、例年満足度が低く、重要度は高い、最優先で改善すべき項目です。道路整備に関する予算が全体に占める割合を伺います。

都市政策部長 過去3年間の決算額の実績では、平成29年度は3.0%、30年度は2.6%、令和元年度は2.4%です。

議員 市民ニーズに沿って道路整備に関する予算を大幅に組み替え、職員の配置も見直すべきと考えますが、市長の所見を伺います。



市長 ひどい渋滞が起きるなど市民満足度の低さは認識しています。県と協議の上、旧国道122号等の右折帯を整

備するとともに、う回路として西部幹線を整備する等、満足度の向上に結び付く政策を行いたいと考えます。

議員 市民満足度アンケートにおける満足度の低い項目は、原因を追求すべきと思いますが、所見を伺います。

市長 文化やスポーツ等、市民に還元されるにもかかわらず重要度が低いとされている項目にこそ政策的に力を入れる必要があると考えます。

議員 コロナ禍やデジタル化の中、広報・広聴の在り方は大きく変わっていくと思います。市政情報等を広く知ってもらうことや、市民からの相談への対応等、各部署と広報課との連携が重要と考えますが、所見を伺います。

市長 市民からの相談の受け付け等は市民そうだん課で行っており、窓口はこれからも一本化しておきたいと思えます。情報発信については広報課が主体で行うと同時に、担当部署から発信することも大事だと考えます。



本市の奨学金制度について



創政クラブ 高田 靖

議員 太田市奨学金の概要および今年度の募集・申請人数を伺います。

教育部長 大学生等には月額3万3,000円を基本4年間、高校生には月額1万3,000円を基本3年間貸与しています。令和2年度は高校生5人程度、大学生等35人程度を募集し、高校生1人、大学生等19人の申請がありました。



議員 平成25年度以降、募集人数に対して申請人数が少ないと伺いました。この現状について所見を伺います。

教育部長 募集人数は余裕を持って見積もっています。また、本市奨学金は貸与型であるため、将来の返済を考慮していることや、国等の奨学金の充実により、申

請が減っていると思われます。

議員 本市奨学金における滞納や分納誓約等の現状について伺います。

教育部長 令和2年4月1日現在、過年度分の滞納者数は30人で、分納誓約期間は17年3カ月が最長です。

議員 非正規雇用の増加に伴って貧困化が進み、社会的格差が広がる中、18歳の学生に奨学金の返済を背負わせるのは酷なことと思います。労働人口の確保という観点からも、奨学生が本市の企業に就職したら給付や減免を行う等のインセンティブ制度をつくるべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 そういった制度がないために就職後も奨学金の返済に苦しむ人がいるならば、制度の創設によって彼らを勇気づけることができると思います。前向きに検討し、できるだけ早期に実行に移せるようにしたいと考えます。

■その他の質問

・本市の債権管理について



保育所等の入園手続について



創政クラブ 松川 翼

議員 本市における保育所等の入園方法について伺います。

福祉子ども部長 入園前年の10月に第1次募集、入園年の2月に第2次募集の申し込み受け付けを行い、保育所等利用調整基準表に基づいて選考しています。

議員 保育所等利用調整基準表における調整指数の設定について伺います。

福祉子ども部長 保育所等利用調整基準表は保育の必要性を確認するためのもので、子ども・子育て支援法施行規則で定められた保育要件に基づき調整指数を設定しています。入園選考にあたり、国から優先利用に関する基本的な考え方が示されており、事案に応じて調整指数上の優先度を高めることで優先利用を可能とする仕組みを基本として公平性を確保しています。

議員 入園に当たり、同じ学区内の子どもには地域による加点をすべきと考えますが、現状について伺います。

福祉子ども部長 国の考え方では地域条件は対象ではなく、距離による加点は

行っていません。

議員 子どもが学区内の保育所等に入園できるよう、地域による加点を行う等、調整指数を見直すべきと考えますが、市長の所見を伺います。



市長 議員と全く同じ考えです。入園に公平性を要するとはいえ、第一優先は地域性であり、保育所等から同じ地区の小学校に入学するのが一番スムーズだと考えますので、機会を見て国へ働き掛けたいと思えます。

■その他の質問

・新市民体育館の活用によるスポーツ推進の体制づくりについて



持続可能な自治会活動について



太田クラブ 八長 孝之

議員 ふれあい相談員とおとしより見守り隊は、お互いの業務内容および民生委員の活動内容と重複する部分があると思われます。役割の明確化や、ふれあい相談員への権限の委譲・強化等によりお互いの負担軽減等ができると思いますが、所見を伺います。

健康医療部長 見守り対象者に対する相互認識の整合性を取るとともに、きめ細やかな見守り活動のため、相互の見守りが必要です。3者が連携した適切な対応により、1人暮らし高齢者が地域で安心して生活できると考えます。

議員 地域では担い手不足や外国人の問題等、年々複雑化する問題を抱えています。区長や各種委員が担っていた事業を本市で全て担うとなると、大幅な負担の増加や事業の中止も危惧されることから、今後も地域における自治会活動を維持していくことが必要と考えますが、市長の所見を伺います。

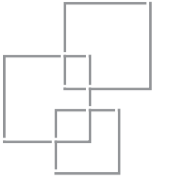
市長 区長等はみんな高齢化しており、今後、現状の組織を維持していけるとは考えていません。行政と市民がさまざまなツールを利用して直接交流する時代に対応できるように、各所管で準備していきたいと考えます。

議員 行政センターに専門の地域担当職員を配置することで自治会の機能強化につながり、区長等の負担も軽減できると考えますが、所見を伺います。

市長 行政センターには所長と係長が必ず配属されており、地域の意見を十分に聞ける体制になっていますので、区長等には現状の体制で地域を守ってもらえれば大変ありがたいと思います。



12月定例会では、11月30日と12月1日、2日の3日間にわたり19人の議員が一般質問を行い、太田市政の現状や将来に対する方針などに関して活発な議論を展開しました。紙面の都合により、質問した議員に確認の上、1問を選び、質問と答弁の要旨を紹介します。なお、一般質問の様子は、太田市議会ホームページ「インターネット中継」からご覧いただくことができます。また、本定例会の正式な会議録は、市政情報コーナーや市立図書館、市議会ホームページ、議会事務局などで、3月下旬からご覧いただけます。詳しいことは、議会事務局(☎0276-47-1806)までお問い合わせください。



脱炭素社会の構築に向けた本市の取り組みについて



公明クラブ 前田 純也

議員 本市では市長が県内の市町村で初めて「2050年脱炭素社会の実現に向けて」を記者会見で表明しました。その中の「地産エネルギーの利用拡大」について伺います。

産業環境部長 電力の地産地消として(株)おた電力が市内の固定価格買取制度満了者(卒FIT者)から余剰電力を買い取り、その電力を市内の公共施設等に提供しています。今後、協力できる公共施設を拡大していきたいと考えます。

議員 今後、庁舎内の照明を全てLED化する等、さらなる省エネに取り組むべきと考えますが、所見を伺います。



総務部長 本庁舎のLED化率は今年

度末で12.9%となる予定ですが、将来的にはほとんどの照明をLED化する計画です。これにより、昨年度における本庁舎のCO₂排出量の約17%に相当する量を削減でき、高い効果が見込まれます。

議員 2050年脱炭素社会の実現という目標達成に向けた今後の取り組みについて、市長の所見を伺います。

市長 22年前の本庁舎建設時、南面のガラスに太陽光発電の機能を持たせたことが本市のカーボンニュートラルのスタートです。おた電力卒FIT電気買取サービスを始め、将来は本庁舎の電気や空調も地産地消で賄いたいと思っています。また、水素をエネルギーとして使う研究を進めている(株)澤藤電機と協力するなど本市としての形をつくり、国と歩調を合わせて目標に早く到達できるよう頑張りたいと思います。

■その他の質問

・ごみ搬入量の現状と今後の諸課題について



本市の治水対策事業の推進について



創政クラブ 高木 きよし

議員 今年度、国土交通省とダム関係機関とで利根川水系治水協定が締結されましたが、その概要を伺います。

総務部長 既存の利水ダムを治水対策にも活用するものです。具体的には、洪水が予測される場合にあらかじめダムの貯水を放流して水位を下げおき、大雨時に水をダムにためることで、下流の流量を減らして災害を防ぎます。

議員 本市の洪水対策における治水協定の活用について所見を伺います。



総務部長 利根川や渡良瀬川の水位の上昇は市内の中小河川に大きな影響を及ぼすため、水位状況を的確に把握することが最重要です。減災対策協議会で策定された河川のタイムライン等を活用し、対策

していきたいと思います。

議員 早川堤防のかさ上げ工事の計画について伺います。

都市政策部長 現在、早川低水護岸工事を行っており、その完成後の太子橋撤去に向けた工事設計を国と協議しながら実施しています。その後の堤防のかさ上げも早期完成できるよう、国と協議を重ねています。

議員 石田川中流部の粕川町粕川住宅地内では、集中豪雨の際に排水路があふれ、内水氾濫が発生しています。粕川住宅ポンプ施設は老朽化と排水能力不足が疑われ、早急な増強、改修が必要と考えますが、市長の所見を伺います。

市長 緊急性の高い箇所の一つであり、整備が必要と感じますが、河川や治水は県が主体の事業となりますので、県に積極的に働き掛けたいと思います。

■その他の質問

・都市計画道路の整備の推進について



コミュニティFM放送の難聴解消について



創政クラブ 板橋 明

議員 エフエム太郎の難聴地域となっている毛里田・尾島地区に中継局をつくる計画がありますが、現状と今後の見通しについて伺います。

企画部長 両地区への中継局を設置する場合、1カ所当たり約3,000万円の設置費用と、年間約180万円の維持費が必要となります。過日、総務省関東総合通信局に相談したところ、仮に中継局を設置しても全ての難聴が解消される保証はなく、新たな難聴地域を生む可能性もあるとの指摘を受けました。

議員 FM放送が聴き取りづらい場合の対策として、屋外にFM専用アンテナを設置する費用について伺います。

企画部長 アンテナの設置は難聴地域に個別に対応できる有効な手段の一つです。費用については各家庭の状況によりますが、アンテナ代が約5,000円、それに加えて工賃が必要となります。

議員 FM放送は地域のライフラインです。聴く環境が阻害されたままで良い

のか、市長の所見を伺います。

市長 良いとは思っていません。



議員 毛里田・尾島地区でアンテナ設置を希望する世帯に、設置費用の2分の1を補助すること等を英断すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 アンテナを設置すれば希望する人が確実に聴くことができるようになりますので、議員の提案を真摯に受け止めて検討し、総体的に難聴地域がないようにしていきたいと思っています。

■その他の質問

・入札契約について
・行政手続の押印廃止と起案決裁の改善について



性的少数者への支援について



公明クラブ 高橋 えみ

議員 自治体がパートナーシップ制度を導入した際の、当事者にとってのメリット、デメリットを伺います。

市民生活部長 メリットは同性のパートナーが家族として自治体のサービスが受けられること、デメリットは認定した自治体から転出するとその効力が失われることが挙げられます。

議員 学校現場における性的少数者からの相談の現状と対応を伺います。

教育長 性の多様性に関して学校へ相談した子どもは、今年度、小学生で2人、中学生で14人いました。中学校の例では、性別違和がある生徒と教員が制服の着用等について一緒に考える等、子どもに寄り添った対応をしています。

議員 性的少数者に対する市長の認識について伺います。

市長 どんな分野でも、少数派というのはその他大勢と捉えられてしまい、それが基本的人権を侵していることに多数派の人たちはなかなか気づきません。最終

的には基本的人権の問題であり、差別が生じることによって個人の意思や能力、個性がゆがめられていくことはあってはならないと思います。



議員 性的少数者はいないのではなく、見えないと言われる。自分らしく生活し、平等に市民サービスを受けられる環境整備が重要です。県は多様な幸福の実現を目指すパートナーシップ証明制度の導入の方針を示しましたが、本市への導入について所見を伺います。

市長 県に同調し、同じ時期に同じような制度をつくりたいと思います。

■その他の質問

・糖尿病性腎症重症化予防について

一般質問要旨



おおた鶴生田町太陽光発電所の諸課題と今後の対応について



立憲民主党 神谷 大輔

議員 おおた鶴生田町太陽光発電所では強雨時に周辺への越水被害が発生していますが、その経過と対策について伺います。



産業環境部長 平成26年9月に周辺住民から最初の相談を受けて、28年度から30年度にかけて場内の調整池や排水路、周辺道路の側溝等を整備し、令和元年度から本年度にかけて排水路等を追加整備しました。今後は雨水滞留の解消のため、貯め枿たくわの設置と側溝へつなく暗渠あんきょ工事を行いたいと考えます。

議員 発電所内への鉄鋼スラグの敷設の経緯と現状を伺います。

産業環境部長 ぬかるみや雑草対策と

して敷設したようですが、水を含んで固まり、施設の排水機能が低下しています。使用した製品はJIS規格に適合しており、有害性はないと考えます。

議員 越水被害対策の長期化等の問題を踏まえ、周辺住民が不安から解放されるよう解決を図るべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 越水被害への対応が遅れたことは反省しています。その後最善を尽くしていますので、普段の降雨時には十分対応できる環境になると思います。

議員 鉄鋼スラグに関して周辺住民の健康への影響も心配されます。環境調査を実施することで安心につながると考えますが、所見を伺います。

市長 万全を期した製品です。担当課が把握している試験報告書を周辺住民に確認してもらえればと思います。

■その他の質問

・外国人労働者特区申請の検証について



陳情の課題について —都市政策部が取扱う陳情案件について—



太田クラブ 大川 敬道

議員 令和元年度に設けた、陳情の新採択基準の目的と内容を伺います。

都市政策部長 本市の道路行政を取り巻く環境は、農地の宅地化や気候変動に伴う道路冠水等により変化しています。市民ニーズに即した評価項目や採択基準を新たに設け、それを数値化することにより効率的で効果的な整備推進を図ることが目的です。具体的には学童の通学路を中心に、緊急性や安全性等さまざまな視点で評価しています。

議員 道路整備課で受理した陳情のうち、未着手の175件全てを新基準により評価し、得点と優先順位を可視化すべきと考えますが、所見を伺います。



都市政策部長 古い陳情には緊急性や必要性の低い案件が残っている状況です。新基準策定前の案件と策定後の案件は、バランスをとりつつ進めるべきと考えます。なお、新基準による各案件の得点は、行政センター所長を通じて地域に報告しています。全体の順位の公表は考えていませんが、透明性の確保について今後研究したいと思います。

議員 未着手案件のうち新基準により評価したのは22件とのこと。残りの約150件も評価して事業化すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 地域の実情を見て、緊急性の有無は必ず判断していると考えます。未着手の案件は地域と一緒に判断して残している状況だと思います。緊急性の高いものはできるだけ早く手掛けるようにして、市民の利便性も安全性も守っていきたくと思っています。

■その他の質問

・農政部が取扱う陳情案件について



太田市藪塚本町中央運動公園に隣接した排水施設の管理について



創政クラブ 高藤 幸偉

議員 藪塚本町中央運動公園の悪臭苦情の把握状況について伺います。

文化スポーツ部長 公園東側の多目的広場に隣接する排水路からの臭気についての苦情を把握しています。

議員 臭気の抑制と安全の確保のため、具体的な対策を行うべきと考えますが、所見を伺います。

農政部長 点検や作業に支障を来すため、排水路にふたを掛けられないことから、多面的機能支払交付金事業で定期的にしゅんせつを行っています。農村整備課でも堆積物やごみの状況を定期的に確認したいと思います。

議員 悪臭への対応経過を伺います。

産業環境部長 平成28年6月に最初の苦情があり、当時は排水路の汚泥が原因と思われていたため、農村整備課が清掃を行いました。続いて平成29年3月に再度苦情があり調査したところ、原因と思われる2事業所が特定できました。立ち入り調査の結果、水質汚濁防止法の排水

基準超過を確認したため改善指導を行い、一方は施設の整備を完了しました。もう一方は公共下水道に接続するため協議中で、水質検査の結果を確認後、接続工事を行う予定です。



議員 本事例は行政として組織の枠を超えた横断的な対応が求められるもので、その実現が早期解決につながると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 各部署がたらい回しにすることのないよう、原因の把握と問題解決に積極的に取り組むしたいと思います。

■その他の質問

・道路の保全及び整備への対応について



スポーツ等による交流人口の拡大施策について



創政クラブ 矢部 伸幸

議員 近年大きな盛り上がりを見せるeスポーツや新たに注目されるスケートボードについて所見を伺います。

文化スポーツ部長 スケートボードはオリンピックで正式種目となり、若者からの人気の高さを認識しています。eスポーツについては県が令和2年4月にeスポーツ・新コンテンツ創出課を創設しましたので、今後、県や先進地の動向を注視していきたいと考えます。

議員 オリンピック終了後、スケートボードはさらに人気が上がると思います。延期しているスケートパークの建設に今から着手すれば、絶好のタイミングで完成すると考えますが、所見を伺います。

都市政策部長 財政基盤が安定するまでは延期せざるを得ないと考えます。

議員 勉強やスポーツが苦手な子どもも活躍できるものとしてeスポーツという選択肢があってほしいと思います。eスポーツについて市長の所見を伺います。

市長 非常に興味のあるテーマです。

一般的なスポーツと比べても国内の競技人口が多く、国体でも取り上げられる等、大きな可能性を感じます。建設中の新市民体育館にeスポーツを呼び込み、プログラムを運営できるような環境をつくれるのではないかと考えます。

議員 スケートパークの早期実現について所見を伺います。

市長 北関東自動車道を通じて近隣県から人を集め、本市の認知度アップ、交流人口の増加につなげたいと思います。コートだけでなくトイレや来場者が交流できる施設等も必要で、かなりの予算がかかりますので、補助金の活用も考えながら着手に向けて動きたいと考えます。



一般質問要旨



市民の日常的移動手段としての東武鉄道と藪塚駅・木崎駅のバリアフリー化について



創政クラブ 今井 俊哉

議員 公共交通の利便性は複数の交通手段の場所とダイヤの接続によって大きく変わります。太田市営バス路線と鉄道駅との接続の現状を伺います。

市民生活部長 バス停は駅周辺の安全で乗降しやすい場所に設置しています。鉄道との接続について、今後、東武鉄道(株)と連携を図っていきたいと考えます。

議員 特急停車駅の藪塚駅は木崎駅と比べてバリアフリーが未整備です。また、東口を新設し「藪塚温泉口」などと命名すれば永続的なPR手段となり、駅東側市有地の有効活用にもつながると考えますが、市長の所見を伺います。

市長 バリアフリー化は非常に大切で多くの人を救うかもしれませんが、鉄道は営利事業でもあり、ニーズがあるかは疑問です。また、駅の東側は発展性もないと思われるので、全体の改修等は厳しいと考えています。

議員 利用者が定額を支払うことで市営バスが乗り放題になる運賃サブスクリ

プション構想により、日常的に公共交通を利用する動機が生まれ、利便性や渋滞緩和、脱炭素の進展にも寄与すると考えますが、所見を伺います。

市長 料金が固定でどこへでも行けるのは非常に良い案と思いますが、必要性がなければ具現化できませんので、市民のバスに対するニーズや期待度を探っていきたいと思います。

議員 川俣駅以北の区間で沿線自治体が共同で固定費を東武鉄道(株)に支払い、住民を乗り放題にする広域鉄道運賃無料化構想について所見を伺います。

市長 沿線自治体や東武鉄道(株)との協議の場で提案してみたいと思います。



ケアラー支援について



公明クラブ 星野 一広

議員 家族の介護に疲弊し殺害してしまうという痛ましい事件が散発しており、ケアラー支援制度の構築や法的基盤の整備が喫緊の課題と考えます。本市のケアラー支援について伺います。

健康医療部長 直接的な支援として介護慰労金を支給している他、介護に係る住宅改修費の助成や認知症高齢者の家族へGPS端末の貸与等を行っています。また認知症カフェの開催等、ケアラーの精神的負担軽減につながる支援も続けていきたいと考えます。

議員 ケアラーに自分自身の心身の健康に向き合うきっかけにもらうため、ケアラー手帳を導入することについて所見を伺います。

健康医療部長 関係者やケアラー当事者に紹介し、実用性について意見を聞く等、研究していきたいと考えます。

議員 令和2年3月、埼玉県が全国初のケアラー支援条例を制定しました。ケアラーの権利擁護を定め、介護保険法では

うたいきれなかった家族による過度な介護負担の軽減を条例に担保しています。老老介護やヤングケアラーという新しい問題も出てきたことから、本市も新しい観点で相対的な支援をすべくケアラー支援条例を制定すべきと考えますが、市長の所見を伺います。



市長 ケアラー手帳に本市の制度一覧を挿入して配布することを検討したいと考えます。条例化については議会でも議論してもらい、議員提出議案として出してもらうのも良いと思います。

■その他の質問

- ・デジタル推進組織の創設について
- ・成年後見制度の推進について



インフルエンザ予防接種補助について



太田クラブ 渡辺 謙一郎

議員 15歳以下の子どもの場合、インフルエンザの予防接種は2回行うべきという考えもあるようです。本市の15歳以下の子どもの数を伺います。

健康医療部長 令和2年4月1日現在で3万2,768人です。

議員 新型コロナウイルスのワクチンについて、本市が把握している情報があるか伺います。

健康医療部長 正確な情報は得られていませんが、ワクチンが供給されたときに備えて、人員の確保や予防接種台帳のシステム改修等、必要な体制を整えるよう国から通知されています。



議員 コロナ禍で生活が困窮している家庭がある中、特に子どもが複数いると予防接種は大きな出費となります。15歳以下の子ども全員のインフルエンザ予防接種費用を補助すべきと考えますが、市長の所見を伺います。

市長 受験生には平等に予防接種を受けてもらい、実力を発揮できるようにと補助を行っていますが、子ども全員を対象とするのは数が多すぎて難しいです。手洗いやマスク等により、自分で予防を続けてほしいと思います。

議員 新型コロナウイルスのワクチン供給に備え、今から組織体制を整えるべきと考えますが、所見を伺います。

市長 ワクチン接種の優先順位を決めるに当たっては、年代や基礎疾患の有無等、いろいろな条件があると思われます。その分別をして対応するための準備に万全を期したいと考えます。

■その他の質問

- ・放課後児童クラブの運営状況について



2050年脱炭素社会の実現に向けた計画について



日本共産党 石井 ひろみつ

議員 本市における今後の温室効果ガス排出削減計画について伺います。

産業環境部長 2015年度の温室効果ガス総排出量が280万トンのCO₂でしたが、これを2017年度から2026年度までの10年間で15%、量にして42万トンのCO₂を削減することを目標としています。

議員 本市ホームページには「2050年脱炭素社会の実現に向けて」の方針が示され、新技術の普及促進として、市内企業による化石燃料に頼らず水素を作る技術の掲載があります。将来的な温室効果ガス削減に大きく寄与すると思われるのですが、製品化の目途が立たないものは掲載せず、既存のエネファームや蓄電池等の普及促進に注力すべきと考えますが、所見を伺います。

産業環境部長 2050年までという長期間を見据えており、この達成に向けての取り組みは将来的なものまであってしかるべきと考えます。エネファーム等については二酸化炭素を発生しない等のメリットがあ

る半面、いずれもイニシャルコストが高い等の課題もあり、一般家庭の需要が高まっていない状況と捉えています。

議員 現状の省エネルギー機器設置補助金について市長の所見を伺います。

市長 補助金額が少ないと認識していますが、2050年脱炭素社会の実現のためには国民全体が省エネの意識を高める必要があることから、国がさらなる施策を打ち出してくれると思いますので、それを待ちたいと考えています。



■その他の質問

- ・障がい者入所施設、グループホーム等における課題及び対応について

12月定例会 一般質問要旨



コロナ禍における地域経済の再生について



日本共産党 水野 正己

議員 依然として厳しい経済状況の中、公共調達の果たす役割は重要です。透明性や公平性の確保の観点から、現在の方法で行うプロポーザル契約を一時停止し、これまでの案件を検証すべきと考えますが、所見を伺います。

総務部長 プロポーザル契約は市の考えに合致した提案を選ぶ方法として大変有効です。担当課が行う契約手続きは、その決定プロセスや公平性が確保されているものと考えています。



議員 入札の辞退も少なくなく、太田市より最低制限価格が高い自治体もあります。予定価格や最低制限価格が低い

めに、入札の辞退によって1者入札となることもあり得ます。入札の機会を拡大し、公正な競争と工物品質の確保を図るため、1者入札となった場合には予定価格、最低制限価格を変更し、再入札すべきですが、所見を伺います。

総務部長 市内発注、一般競争入札という原則に基づいて、今後も1者入札を有効としたいと考えています。

議員 価格以外にも評価する総合評価落札方式を拡大し、千葉県野田市のように入札における市独自の最低賃金を設定し、その最低賃金を超えた水準を評価することで、入札の機会の拡大と適正な労賃が支払われる仕組みをつくるべきですが、所見を伺います。

総務部長 太田市の総合評価落札方式は、県の審査委員会でも妥当性が認められていますので、見直しの予定はありません。

■その他の質問

・訪問によるけんしんの受診率向上について



太田強戸スマートインターチェンジを活用した地域振興について



市民の会 尾内 謙一

議員 太田強戸スマートインターチェンジ(以下SIC)の周辺整備の現状と今後の方針を伺います。

都市政策部長 スポーツを通じたにぎわいの創出のためスケートパークの整備を進めていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大による経済状況の悪化に伴い延期となりました。今後は地元住民からの意見を聞きながら、民間活力も生かせる整備を行いたいと考えています。



議員 SIC周辺には一定エリア内に多様な施設が集中しています。こうした施設同士の連携を図ることでエリアの魅力が高まり、観光誘客につながると考えますが、

所見を伺います。

産業環境部長 民間を含めた周辺施設を生かしながら、庁内でも関係課で連携し、イベント等のソフト面も併せて取り組んでいきたいと考えています。

議員 スケートパークはSIC周辺整備の要になると考えます。一方、周辺には四季を通じてさまざまな体験ができる観光資源が多数あり、全ての年代をターゲットとした誘客ができると思います。スケートパーク内に観光客が憩える場をつくり、にぎわいを生み出す事業を組み入れてはどうか考えますが、市長の所見を伺います。

市長 菅塩沼等、多くの拠点を活用するとともにさらに増やして行って、SICという利点を生かし、観光客に楽しんでもらえる環境をつくれると思います。何とか財源を確保し、市北部の力を発揮できるよう頑張りたいと思います。

■その他の質問

・太田市運動公園の全体再整備とスポーツイベント等への活用について



太田東小学校及び葦川西小学校の跡地利用について



創政クラブ 大川 陽一

議員 太田東小学校と葦川西小学校の跡地利用の考え方を伺います。

企画部長 公共施設マネジメント推進委員会において、行政事業への対応と公共施設料の適正化、地域住民の利用と地域ニーズを踏まえた活用、民間事業者等による活用、中長期的な視点に立った活用といった4つの基本方針を定めています。これを踏まえて有効的な利活用を検討したいと考えています。



議員 4つの基本方針を踏まえ、現段階での市長の構想について伺います。

市長 学校ですから教育施設として残したいというのが構想の核です。一つは外国人が集住していることから、太田東

小跡地には外国人がさまざまな技術を学べる専門学校を考えています。もう一つは、学校が統合することにより校庭が狭くなりますので、葦川西小跡地にはスポーツ施設を造り、おたスポーツアカデミーを運営させる等、子どもたちが今よりずっと良い環境で運動できる拠点としたいと考えています。

議員 専門学校については、本市の土地柄、ものづくりや情報技術に焦点を当てるのが良いと考える一方、日本語教育の重要性も強く感じますが、市長の所見を伺います。

市長 日本語は必修カリキュラムとして考えています。JICAも応援したいと言ってくれているので、実現に向けて頑張っていきたいと思っています。

■その他の質問

・太田市立北の杜学園の準備状況と学校運営協議会について

・太田駅北口から大光院や金山周辺までの活性化について

今定例会で決まった人事

11月30日の本会議において市長から提出された人事案件は、賛成全員により可決されました。

人権擁護委員候補者

ますだ 増田 さん
ふみえ 文江 さん
はしもと 橋本 さん
せいじ 誠次 さん

委員会では

次の議案を審査しました

本会議で各常任委員会に付託された議案の審査結果について、定例会初日および最終日に行われた委員長報告から要旨を抜粋してお知らせします。

総務企画委員会

■太田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

問 職員労働組合との協議状況を伺います。

答 職員労働組合側からは理解をいただいています。

審査結果 原案可決

■市長等の給与に関する条例の一部改正について

問 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、市長等の給料が臨時特例的に減額されましたが、本条例改正における期末手当の支給に係る算定根拠を伺います。

答 臨時特例前の条例に規定されている給料の額を基に算出します。

審査結果 原案可決

■太田市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市委計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

審査結果 原案可決

市民文教委員会

■太田市体育施設条例の一部改正について

問 太田市尾島第2体育館の廃止に伴う利用者への影響について伺います。

答 太田市尾島第2体育館の解体時期を、太田市尾島体育館の完成後とすることで、利用者への影響が出ないよう考慮しています。

審査結果 原案可決

■太田市宝南センター条例の一部改正について

問 現在の屋内運動場の利用状況を伺います。

答 現在、屋内運動場を利用する団体は12団体あり、主に卓球に利用されています。

問 当該施設の使用中止に伴う代替施設整備への考え方を伺います。

答 太田市公共施設等総合管理計画における総量抑制の考え方に即し、廃止したいと考えます。また、安全・安心の観点からも、予算の措置ができ次第、解体したいと考えています。

審査結果 原案可決

健康福祉委員会

■太田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

審査結果 原案可決

■太田市民健康保険税条例の一部改正について

問 当該特別控除の適用時期を伺います。

■指定管理者の指定について(太田市斎場)

問 選定方法を非公募にした理由とその妥当性について伺います。

答 当該施設は建設から40年近くが経過しており、今後予定されている大規模改修においては、火葬炉等を稼働させながら改修工事を実施する必要があるため、工事と運転管理との連携を円滑に行う必要があります。施設の老朽化に伴う不具合等の問題点や特性を熟知している管理者を指定することで、設備の修繕等の件数が増加するリスクが軽減され、コストの抑制につながることで、また、これまでの斎場運営においても問題がなく、引き続き安定した斎場運営の継続が期待できること等から非公募としました。

審査結果 原案可決



答 租税特別措置法において規定する期間である令和2年7月1日から令和4年12月31日までに譲渡した一定の低未利用土地等に係る長期譲渡所得について、令和3年度分以降の国民健康保険税に適用されます。

審査結果 原案可決

■太田市福祉医療費支給に関する条例の一部改正について

問 当該助成に必要な予算について伺います。

答 現行の15歳までの医療費一部負担に係る市の助成額は約4億2,000万円です。16歳から18歳までの高校生世代の医療費一部負担に係る市の助成額は約1億5,000万円を見込んでいることから、総額は約5億7,000万円になると考えられます。

審査結果 原案可決

■指定管理者の指定について(太田市福祉会館)

審査結果 原案可決

■指定管理者の指定について(太田市藪塚しゅんらん地域活動支援センター)

問 指定管理者制度が当該施設に導入された時期と、制度導入以前の運営形態について伺います。

答 指定管理者制度の導入は平成30年4月1日からです。制度導入以前は市の直営により運営されていましたが、平成29年度は事業の一部をNPO法人しゅんらんに委託していました。

問 現在の指定管理者が指定管理者候補者となっていることを踏まえ、施設の運営状況を伺います。

答 利用者アンケートの結果から良好な運営状況であることが推察されますが、利用定員に対し利用者数が少ない現状があり、法人に対し利用者数の増加を図るための工夫を依頼しています。

審査結果 原案可決

■指定管理者の指定について

●太田市新田福祉総合センター

●太田市尾島健康福祉増進センター

問 新型コロナウイルスの影響による両施設の休館期間における管理運営委託料の減額が、労働者の責めに帰すべき事由のない賃金の減額につながったのではないかと危惧しますが、所見を伺います。

答 今後は同様の事案が発生した際に

都市産業委員会

■太田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について

問 市街地の拡散の抑制等を趣旨とした改正都市計画法と、本案における都市計画の定期見直しに伴う約201名の市街化区域の編入との整合性について伺います。

答 都市計画マスタープランに基づき、利便性が高い市中心部への居住誘導、公共交通網の利用促進、産業拠点の拡充等、政策的課題へ対応するために必要な都市計画の変更です。懸念される無秩序かつ拡散的な開発を助長するものではなく、改正都市計画法との整合性は図られると考えます。

問 地区計画決定までの過程における住民からの意見反映について伺います。

答 地権者説明会をはじめ、公聴会およ

指定管理者と協議できるよう、基本協定書に規定することを検討していきたいと考えます。

審査結果 原案可決

■指定管理者の指定について

●太田市毛里田小放課後児童クラブ

●太田市藪塚本町南放課後児童クラブ

●太田市藪塚本町南第2放課後児童クラブ

問 太田市毛里田小放課後児童クラブの指定管理者候補者の選定理由を伺います。

答 公募により2団体からの応募があり、太田市指定管理者候補者審査委員会において、これまでの運営実績および組織体制等が評価され、当該団体が選定されるに至ったと考えます。

審査結果 原案可決

■指定管理者の指定について(太田市総合健康センター)

審査結果 原案可決

■指定管理者の指定について(太田市養護老人ホーム)

問 現在の指定管理者が指定管理者候補者となっていることを踏まえ、施設にて実施された利用者アンケートにおいて、食事の満足度が低下している原因と今後の対応策を伺います。

答 人件費の削減と業務の効率化を図るために、食事の提供方法を施設内での調理から給食センターでの調理へ変更したことによる味の変化が原因と考えられます。現在も法人に対し、入所者の満足度向上につながる食事の提供等についてさまざまな要望を伝えていますが、今後も食事に係る課題点の改善を促していきたいと考えます。

審査結果 原案可決



び都市計画案の縦覧により意見聴取を実施し、都市計画審議会を経て決定となります。住民からは建築物の制限の規定、固定資産税に係る影響、学校周辺環境への配慮等の声が挙げられましたが、当該都市計画変更の趣旨に反しないものについては地区計画に取り入れるよう、きめ細やかな対応を行ってきました。

問 本改正により商業系土地利用へ変更となる丸山地区周辺の今後の計画を伺います。

答 利便性の向上による市街地の拡散が危惧されるため、改正都市計画法による無秩序な開発の抑制が求められます。今後、当該地区近隣の大規模指定既存集落区域を中心としてモデルエリアに指定し、地域コミュニティを維持していきたいと考えます。

審査結果 原案可決

■太田市道路占用料徴収条例の一部改正について

問 道路法施行令の一部改正が行われた背景として、消費税率が10%に引き上げられたことによるものと思慮しますが、他に挙げられる要因を伺います。

答 平成30年度の3年に1度の固定資産税評価額の評価替えを踏まえて見直しを実施されたと考えます。国にならい、本条例を改正するものです。

問 占用物件である電柱の改定率と本改正に伴う増収見込み額を伺います。

答 第1種から第3種までの電柱の平均改定率は17.2%であり、480万円程度の増収を見込んでいます。

審査結果 原案可決

■太田市公共物使用等に関する条例の一部改正について

問 公共物使用料の還付における規定の追加および算定方法等を変更する理由を伺います。

答 行政財産における取り扱いを統一するためです。

審査結果 原案可決

■太田市営住宅条例の一部改正について

問 条例改正に至る経緯を伺います。

答 本改正によって住戸改善事業の対象入居者の市営住宅間の移転が可能となり、市営住宅集約促進事業の円滑な推進が図られます。

問 住戸改善事業における今後の具体的な計画、目的および内容を伺います。

答 大島市営住宅において単身・小規模世帯向けの住戸を中心とした全面改修工事に令和4年度から着手し、エレベーター設置等、快適な住環境を目指して5カ年で計画を予定しています。

問 改修後の市営住宅への移転に伴う優先入居および急激な家賃上昇への対応策を伺います。

答 従前入居者が公募によらず優先的に戻ってこられるよう配慮するとともに、家賃については段階的に上昇し、6年目に正規の家賃とする緩和措置を取っていきます。

審査結果 原案可決



意見書3件を可決

太田市議会ホームページにて全文を公開しています。
URL・2次元コードからアクセスしてご覧ください。

<https://www.city.ota.gunma.jp/240sigikai/katudou/0212ikennsho.html>



- 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書
- 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書
- 精神障がい者の交通運賃割引制度の適用に関する意見書

12月定例会の

議案の審議結果をお知らせします

《市長提出議案》

番号	件名	付託先	審議結果	採決結果
議案第128号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	可決	賛成全員
議案第129号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	可決	賛成全員
議案第130号	令和2年度太田市一般会計補正予算(第6号)について	省略	可決	賛成全員
議案第131号	太田市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成多数
議案第132号	市長等の給与に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第133号	太田市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成全員
議案第134号	太田市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務企画	可決	賛成多数
議案第135号	太田市体育施設条例の一部改正について	市民文教	可決	賛成全員
議案第136号	太田市宝南センター条例の一部改正について	市民文教	可決	賛成多数
議案第137号	太田市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	健康福祉	可決	賛成全員
議案第138号	太田市国民健康保険税条例の一部改正について	健康福祉	可決	賛成全員
議案第139号	太田市福祉医療費支給に関する条例の一部改正について	健康福祉	可決	賛成全員
議案第140号	太田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	都市産業	可決	賛成多数
議案第141号	太田市道路占用料徴収条例の一部改正について	都市産業	可決	賛成全員
議案第142号	太田市公共物使用等に関する条例の一部改正について	都市産業	可決	賛成全員
議案第143号	太田市営住宅条例の一部改正について	都市産業	可決	賛成全員
議案第144号	指定管理者の指定について(太田市斎場)	市民文教	可決	賛成全員
議案第145号	指定管理者の指定について(太田市福祉会館)	健康福祉	可決	賛成全員
議案第146号	指定管理者の指定について(太田市藪塚しゅんらん地域活動支援センター)	健康福祉	可決	賛成全員

番号	件名	付託先	審議結果	採決結果
議案第147号	指定管理者の指定について(太田市新田福祉総合センター)	健康福祉	可決	賛成全員
議案第148号	指定管理者の指定について(太田市尾島健康福祉増進センター)	健康福祉	可決	賛成全員
議案第149号	指定管理者の指定について(太田市毛里田小放課後児童クラブ)	健康福祉	可決	賛成全員
議案第150号	指定管理者の指定について(太田市藪塚本町南放課後児童クラブ、太田市藪塚本町南第2放課後児童クラブ)	健康福祉	可決	賛成全員
議案第151号	指定管理者の指定について(太田市総合健康センター)	健康福祉	可決	賛成全員
議案第152号	指定管理者の指定について(太田市養護老人ホーム)	健康福祉	可決	賛成全員
議案第153号	財産の取得について(内部情報系端末及びディスプレイ)	省略	可決	賛成全員
議案第154号	財産の取得について(小中学校教育用情報端末)	省略	可決	賛成全員
議案第155号	財産の取得について(太田市立太田高等学校教育用情報端末)	省略	可決	賛成全員

《議会提出議案》

番号	件名	付託先	審議結果	採決結果
議案第3号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元を求める意見書	省略	可決	賛成全員
議案第4号	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書	省略	可決	賛成全員
議案第5号	精神障がい者の交通運賃割引制度の適用に関する意見書	省略	可決	賛成全員

※「付託先」欄において「省略」とあるのは、本会議において委員会付託の省略が行われたことを示します。

《請願》

番号	件名	結果
請願第6号	精神障がい者の交通運賃割引制度の適用に関する意見書提出の件について	採択
請願第7号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、令和3年度政府予算に係る意見書提出に関する件について	採択
請願第8号	日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める件について	採択

《陳情》

番号	件名
陳情第12号	令和2年度「政策決定会議」の議決に関する件について
陳情第13号	安全・安心の医療・介護の実現と国民のいのちと健康を守る件について
陳情第14号	父母による子どもの共同養育に関する件について
陳情第15号	令和3年度税制改正に関する件について